



令和5年11月6日 鈴鹿市立稲生幼稚園



No.5

あかるく たのしい いのうようちえん



冬野菜の種まき、苗植えをしました

夏野菜の時期が終わり、次に幼稚園で育てる野菜を子どもたちが相談して決めました。グループで話し合ってみたものの、なかなか1つの野菜に決まらないので、先生がどんな野菜の名前が出たのかを聞いてみました。すると、「ニンジン」「ダイコン」「ブロッコリー」「レタス」「ホウレンソウ」の名前が出たので、その野菜を育てることにしました。ニンジンとダイコンの種をまく前に、種の入っている袋を振って音を確認、「音が違う」「ダイコンの種は大きそう」と音を聞いて種の大きさを予想する声があり、驚きました。いざ、種を見てみると「やっぱりニンジンは小さかったけど、こんなに小さいとは思わなかったよ」と、そっと丁寧に種をまいていました。子どもたちの感性や探求心を感じた場面でした。9月中旬に植えたブロッコリーとニンジン、ダイコン、レタスに毎朝子どもたちが水やりをして世話をしているので、ぐんぐん大きくなってきました。先週、ホウレンソウの種も蒔きました。大きくなった野菜を収穫するのが、楽しみですね。



3年生と一緒に消防団の見学に行きました

10月5日、3年生と一緒に、稲生地区消防団の見学に行きました。「消防団って何だろう?」「消防車で火事の時に火を消すんだよね」とワクワクしながら歩いていきました。到着すると、消防団の方の説明を聞いて、消防車の中や道具を見せてもらいました。「すごーい」「かっこいい」と大興奮の後、倉庫の中も見せてもらいました。園児は、防火服を着て写真も撮らせてもらいました。



今まで、稲生幼稚園の近くに消防車があり、消防団の方が地域のために日々訓練していることを知らなかった子も多かったので、とても貴重な体験となりました。お世話になった消防団の皆さん、3年生の先生方どうもありがとうございました。



親子でサツマイモほりをしました



6月に植えたサツマイモの苗がどうなったのかを、9月27日に畑まで見に行きました。「わあ、葉っぱがモジャモジャになってる」「ハートの形に見える」「お芋ほり楽しみ」と、子どもたちは、それぞれに感じたことを言葉にして伝え合い、芋ほりの日を楽しみにしていました。そして迎えた11月2日(木)、稲生農地水環境を守る会の皆様にお世話になり、親子でサツマイモほりをしました。この日は、イモレンジャーさんたちが、サツマイモのつるをとり、すぐに芋ほりができるように準備をして待っていてくれました。土の中から次々に出てくるサツマイモを丁寧に掘り出し、たくさん収穫できました。



園に戻ると、すぐにサツマイモほりをした様子の絵をパステルで描きました。感動が冷めないうちに描いたので、たくさんのサツマイモでいっぱい絵になりました。6日(月)には、「サツマイモの色はどの色を混ぜたらできるかな」と、個人の絵の具をパレットで混ぜてサツマイモの色を

作り、色塗りをしました。完成した絵は後日、公民館に展示の予定です。

